

2016年（平成28年）8月3日（水曜日）

16年（平成28年）8月4日（木曜日）

沼津市が建設を予定している新しいゴミ焼却炉を中心とした新中間処理施設の建設計画順延が、今年一月の市議会民生病院委員会では報告されました。私をはじめとする清水町外原区の多くの住民は喜びましたが、順延理由を聞いて驚きました。

新中間処理施設の建設計画（上）

鈴木 隆雄

約束を反故にする？沼津市

理由の一つに「外原区の住民と焼却炉建設に関する合意が得られていない」とあったからです。これでは、外原区がワガママで建設に反対しているため焼却炉の稼働開始が遅れる、という印象を沼津市民に与えかねません。私は落胆するとともに、なぜ沼津市は先人が残してくれた

「覚書」を守ってくれな建設に反対してしまいのか、と悲しい気持ちになりました。「覚書」とは、昭和四十九（一九七四）年に当時の井手敏彦沼津市長と外原区長が交わした契約書です。そこには「将来、一ノ洞、二ノ洞、三ノ洞に焼却炉を建設しないので今

約束を反故にする？沼津市

約束を反故にする？沼津市

約束を反故にする？沼津市

約束を反故にする？沼津市

私が住む清水町外原区は北に狩野川が流れ、その先に雄大な富士山が見え、とても景色の良い所です。本来なら富士山を眺め、胸いっぱい新鮮な空気を吸いたいくところですが、ゴミ焼却炉からの悪臭で窓を開けることができない日があります。私が外原区長だった時、区民から「臭い」と苦情を受け、

私が住む清水町外原区は北に狩野川が流れ、その先に雄大な富士山が見え、とても景色の良い所です。本来なら富士山を眺め、胸いっぱい新鮮な空気を吸いたいくところですが、ゴミ焼却炉からの悪臭で窓を開けることができない日があります。私が外原区長だった時、区民から「臭い」と苦情を受け、

私が住む清水町外原区は北に狩野川が流れ、その先に雄大な富士山が見え、とても景色の良い所です。本来なら富士山を眺め、胸いっぱい新鮮な空気を吸いたいくところですが、ゴミ焼却炉からの悪臭で窓を開けることができない日があります。私が外原区長だった時、区民から「臭い」と苦情を受け、

私が住む清水町外原区は北に狩野川が流れ、その先に雄大な富士山が見え、とても景色の良い所です。本来なら富士山を眺め、胸いっぱい新鮮な空気を吸いたいくところですが、ゴミ焼却炉からの悪臭で窓を開けることができない日があります。私が外原区長だった時、区民から「臭い」と苦情を受け、

私が住む清水町外原区は北に狩野川が流れ、その先に雄大な富士山が見え、とても景色の良い所です。本来なら富士山を眺め、胸いっぱい新鮮な空気を吸いたいくところですが、ゴミ焼却炉からの悪臭で窓を開けることができない日があります。私が外原区長だった時、区民から「臭い」と苦情を受け、

私が住む清水町外原区は北に狩野川が流れ、その先に雄大な富士山が見え、とても景色の良い所です。本来なら富士山を眺め、胸いっぱい新鮮な空気を吸いたいくところですが、ゴミ焼却炉からの悪臭で窓を開けることができない日があります。私が外原区長だった時、区民から「臭い」と苦情を受け、

新中間処理施設の建設計画（中）

鈴木 隆雄

私が住む清水町外原区は北に狩野川が流れ、その先に雄大な富士山が見え、とても景色の良い所です。本来なら富士山を眺め、胸いっぱい新鮮な空気を吸いたいくところですが、ゴミ焼却炉からの悪臭で窓を開けることができない日があります。私が外原区長だった時、区民から「臭い」と苦情を受け、

私が住む清水町外原区は北に狩野川が流れ、その先に雄大な富士山が見え、とても景色の良い所です。本来なら富士山を眺め、胸いっぱい新鮮な空気を吸いたいくところですが、ゴミ焼却炉からの悪臭で窓を開けることができない日があります。私が外原区長だった時、区民から「臭い」と苦情を受け、

私が住む清水町外原区は北に狩野川が流れ、その先に雄大な富士山が見え、とても景色の良い所です。本来なら富士山を眺め、胸いっぱい新鮮な空気を吸いたいくところですが、ゴミ焼却炉からの悪臭で窓を開けることができない日があります。私が外原区長だった時、区民から「臭い」と苦情を受け、

私が住む清水町外原区は北に狩野川が流れ、その先に雄大な富士山が見え、とても景色の良い所です。本来なら富士山を眺め、胸いっぱい新鮮な空気を吸いたいくところですが、ゴミ焼却炉からの悪臭で窓を開けることができない日があります。私が外原区長だった時、区民から「臭い」と苦情を受け、

私が住む清水町外原区は北に狩野川が流れ、その先に雄大な富士山が見え、とても景色の良い所です。本来なら富士山を眺め、胸いっぱい新鮮な空気を吸いたいくところですが、ゴミ焼却炉からの悪臭で窓を開けることができない日があります。私が外原区長だった時、区民から「臭い」と苦情を受け、

私が住む清水町外原区は北に狩野川が流れ、その先に雄大な富士山が見え、とても景色の良い所です。本来なら富士山を眺め、胸いっぱい新鮮な空気を吸いたいくところですが、ゴミ焼却炉からの悪臭で窓を開けることができない日があります。私が外原区長だった時、区民から「臭い」と苦情を受け、

る、という印象を沼津市民に与えかねません。私達は落胆するとともに、なぜ沼津市は先人が残してくれた

当時を知る人に「覚書」を締結した経緯を聴くと、健康被害や悪臭などの懸念があるため外原区はゴミ焼却炉

を繰り返してきましては影響があるのではな

「臭い」と苦情を受け、焼却炉のあるクリーンセンターに抗議したことも多々ありました。

沼津市は、現焼却炉の大規模改修を平成十一年から十三年にかけて行い、煙突から排出される有害物質に関しては「規制値以下だから問題ない」との説明

「臭い」と苦情を受け、焼却炉のあるクリーンセンターに抗議したことも多々ありました。

私が住む清水町外原区は北に狩野川が流れ、その先に雄大な富士山が見え、とても景色の良い所です。本来なら富士山を眺め、胸いっぱい新鮮な空気を吸いたいたいところですが、ゴミ焼却炉からの悪臭で窓を開けることさえできない日があります。私が外原区長だった時、区民から

では、「規制値以下だから問題ない」との沼津市説明は本当なのでしょうか？これについて、いっしょに説明したいと思います。

これは対して当時の町地域振興課長の「焼却炉周辺住民の健康被害はゼロではない」との回答を聞き、私は行政に失望し、怒りすら覚えました。

以前から漠然とではありましたが、「周辺には喘息の子どもの多いな」と感じていたこともあり、清水町立三小

また、「ゴミ焼却炉と喘息被患率の関係について、環境ジャーナリストの青木泰著『プラスチックごみは燃やしてよいのか』の中で

具体的には横浜市のゴミ焼却炉近隣小学校の喘息被患率が、焼却炉の操業終了に伴い、約二分の一から三分の一に減少したと記されています。

「臭い」と苦情を受け、焼却炉のあるクリーンセンターに抗議したことも多々ありました。

これは対して当時の町地域振興課長の「焼却炉周辺住民の健康被害はゼロではない」との回答を聞き、私は行政に失望し、怒りすら覚えました。

以前から漠然とではありましたが、「周辺には喘息の子どもの多いな」と感じていたこともあり、清水町立三小

また、「ゴミ焼却炉と喘息被患率の関係について、環境ジャーナリストの青木泰著『プラスチックごみは燃やしてよいのか』の中で

具体的には横浜市のゴミ焼却炉近隣小学校の喘息被患率が、焼却炉の操業終了に伴い、約二分の一から三分の一に減少したと記されています。

さらに、沼津市が行った生活環境影響調査書には、「ゴミ焼却炉の煙突から出る有害物質が最も多く降り積も

「臭い」と苦情を受け、焼却炉のあるクリーンセンターに抗議したことも多々ありました。

これは対して当時の町地域振興課長の「焼却炉周辺住民の健康被害はゼロではない」との回答を聞き、私は行政に失望し、怒りすら覚えました。

以前から漠然とではありましたが、「周辺には喘息の子どもの多いな」と感じていたこともあり、清水町立三小

また、「ゴミ焼却炉と喘息被患率の関係について、環境ジャーナリストの青木泰著『プラスチックごみは燃やしてよいのか』の中で

具体的には横浜市のゴミ焼却炉近隣小学校の喘息被患率が、焼却炉の操業終了に伴い、約二分の一から三分の一に減少したと記されています。

さらに、沼津市が行った生活環境影響調査書には、「ゴミ焼却炉の煙突から出る有害物質が最も多く降り積も

「臭い」と苦情を受け、焼却炉のあるクリーンセンターに抗議したことも多々ありました。

これは対して当時の町地域振興課長の「焼却炉周辺住民の健康被害はゼロではない」との回答を聞き、私は行政に失望し、怒りすら覚えました。

以前から漠然とではありましたが、「周辺には喘息の子どもの多いな」と感じていたこともあり、清水町立三小

また、「ゴミ焼却炉と喘息被患率の関係について、環境ジャーナリストの青木泰著『プラスチックごみは燃やしてよいのか』の中で

具体的には横浜市のゴミ焼却炉近隣小学校の喘息被患率が、焼却炉の操業終了に伴い、約二分の一から三分の一に減少したと記されています。

さらに、沼津市が行った生活環境影響調査書には、「ゴミ焼却炉の煙突から出る有害物質が最も多く降り積も

沼津市のゴミ収集車に「ごみの量 みんなでへらそう がんばろう」の「ごみ」は変身するぞ！使えろぞ！というユニークな標語が書かれていることに気付いた人も多いので

このよつなことを書くと、「新焼却炉計画では、焼却量が現在の三分の二に減っている」と反論されるかも知れませんが、プラスチック類を燃やさなければ焼却ごみ量は

「脱焼却」で「燃やすもの」と思われがちですが、埼玉県久喜市では微生物の力を利用して生ゴミを燃やさずに処理する施設を導入しています。

「ごみの分別、再利用に」官民一体となり挑戦しました。

清水町から沼津の焼却炉に持ち込まれる「燃やすごみ」の内訳

「ごみの分別、再利用に」官民一体となり挑戦しました。

新中間処理施設の建設計画へ

ゴミ焼却炉は本当に無害？

鈴木 隆雄

まず、私が耳を疑ったのは三年前の十一月に開かれた清水町行政との意見交換会でのこと

その結果、焼却炉に最も近い学校の被患率は9.6%、次に近い学校は8.5%、最も離れた学校では5.3%となっていて、被患率に二倍近くの差があ

さらに、沼津市が行った生活環境影響調査書には、「ゴミ焼却炉の煙突から出る有害物質が最も多く降り積も

さらに、沼津市が行った生活環境影響調査書には、「ゴミ焼却炉の煙突から出る有害物質が最も多く降り積も

さらに、沼津市が行った生活環境影響調査書には、「ゴミ焼却炉の煙突から出る有害物質が最も多く降り積も

このよつなことを書くと、「新焼却炉計画では、焼却量が現在の三分の二に減っている」と反論されるかも知れませんが、プラスチック類を燃やさなければ焼却ごみ量は

「ごみの分別、再利用に」官民一体となり挑戦しました。

清水町から沼津の焼却炉に持ち込まれる「燃やすごみ」の内訳

「ごみの分別、再利用に」官民一体となり挑戦しました。

清水町から沼津の焼却炉に持ち込まれる「燃やすごみ」の内訳

このよつなことを書くと、「新焼却炉計画では、焼却量が現在の三分の二に減っている」と反論されるかも知れませんが、プラスチック類を燃やさなければ焼却ごみ量は

「ごみの分別、再利用に」官民一体となり挑戦しました。

清水町から沼津の焼却炉に持ち込まれる「燃やすごみ」の内訳

「ごみの分別、再利用に」官民一体となり挑戦しました。

清水町から沼津の焼却炉に持ち込まれる「燃やすごみ」の内訳

燃去のま...センターに抗議したことも多々ありました。

沼津市は、現焼却炉の大規模改修を平成十一年から十三年にかけて行い、煙突から排出される有害物質に関しては「規制値以下だから問題ない」との説明

まず、私が耳を疑ったのは三年前の十一月に開かれた清水町行政との意見交換会でのこと。その中で、私は「焼却炉から有害物質が排出されているのではないか?」「規制値以下だから問題ない」と言うが、周辺住民に

焼却炉周辺の住民には「問題ありません」と言い続ける一方、「健康被害がある」とを知らぬが隠していたのです。これは住民に

その結果、焼却炉に最も近い学校の被患率は9.6%、次に近い学校は8.5%、最も離れた学校では5.3%となっていて、被患率に二倍近くの差があ

ゴミ焼却炉近隣小学校の喘息被患率が、焼却炉の操業終了に伴い、約二分の一から三分の一に減少したと記されています。

さらに、沼津市が行った生活環境影響調査には、ゴミ焼却炉の煙突から出る有害物質が最も多く降り積も

沼津市のゴミ収集車に「ゴミの量 みんなでへらそう がんばろう」のゴミは変身するぞー使えろぞーというユニークな標語が書かれていることに

このようなことを書くと、「新焼却炉計画では、焼却量が現在の三分の二に減っている」と反論されるかも

「脱焼却」で「燃やすもの」と思われがちですが、埼玉県久喜市では微生物の力を利用して生ゴミを燃やさずに処理する施設を導入していま

答えは「脱焼却」です。ゴミを分別し再利用を推進することで、焼却炉が不要になるのです。

清水町から沼津の焼却炉に持ち込まれる「燃やすゴミ」の内訳を見ると、紙と布が約六割、生ゴミが約三割、プラスチック類が

この地域だからこそ、脱焼却に向け、先頭を切って行動し始めた訳です。

沼津市のゴミ分別収集の歴史は長く、一九七五年に全国で初めて導入し、ゴミの減量と資源リサイクルを目指す活動として今日に引き継がれています。

「燃やすゴミ」の内訳を見ると、紙と布が約六割、生ゴミが約三割、プラスチック類が

当初、十年でゴミ量を30%以上削減という目標を立てましたが、僅か五年で達成しまし

清水町から沼津の焼却炉に持ち込まれる「燃やすゴミ」の内訳を見ると、紙と布が約六割、生ゴミが約三割、プラスチック類が

このような「焼却に頼らない生ゴミ処理」は全国の自治体で少しずつ導入が進み、脱焼却という選択が全国的に広がりつつあります。

沼津市は、プラスチック類の分別をやめて焼却するのではなく、自ら掲げた標語の通り、今一度、ゴミ分別のリーダーとして頑張りたいと思っ

### 新中間処理施設の建設計画へ

## ゴミの分別を進め、脱焼却!

鈴木 隆雄

幅に焼却ゴミ量は減ると思えます。

た。これにより横浜市内にある七つの巨大焼却場のうち三つが不要となり、特に埋め立て

約一割となっています。布は古着の回収に出し、紙は分別することで焼却量が大幅に減ります。残りの生ゴミとプラスチック類ですが、

こうした状況を知り、私は清水町外原区長の時に雑紙(ごみがみ)を分別収集し、ゴミ減量の取り組みに着手しました。当初は分別方法に戸惑う区民も

沼津市は、プラスチック類の分別をやめて焼却するのではなく、自ら掲げた標語の通り、今一度、ゴミ分別のリーダーとして頑張りたいと思っ

先駆的な素晴らしい取り組みですが、残念ながら沼津市が計画している新中間処理施設では、せっかく住民が分別しているプラスチック類を、熱源のためなのを焼却し、焼却ゴミ量を増やそうとしています。

「燃やすゴミ」の内訳を見ると、紙と布が約六割、生ゴミが約三割、プラスチック類が

当初、十年でゴミ量を30%以上削減という目標を立てましたが、僅か五年で達成しまし

清水町から沼津の焼却炉に持ち込まれる「燃やすゴミ」の内訳を見ると、紙と布が約六割、生ゴミが約三割、プラスチック類が

このような「焼却に頼らない生ゴミ処理」は全国の自治体で少しずつ導入が進み、脱焼却という選択が全国的に広がりつつあります。

沼津市は、プラスチック類の分別をやめて焼却するのではなく、自ら掲げた標語の通り、今一度、ゴミ分別のリーダーとして頑張りたいと思っ